

記事区分	ため池情報	(相談対応・パトロール・ため池情報・講習会・問い合わせから選択)
タイトル	ため池における保全・管理について	
記事内容実施年月日	令和6年3月1日(金)	
概要	ため池の保全・管理の方法と転落事故防止のための安全対策です	

日頃より「秋田県ため池保全サポートセンター」の活動につきまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

ため池現地パトロール調査の結果を踏まえ、農業用ため池の保全・管理の方法と転落事故防止のための安全対策について、サポートセンターよりご提案させていただきます。

【雑木の伐採】

堤体内に雑木が茂ると根の成長により水みちが形成され、堤体の安定性を損ねる原因となります。原野化し、手に負えなくなる前に伐採しましょう。特にヤナギは萌芽後の2年間で4mほどに成長するので要注意です。



雑木により堤体内に亀裂が生じ、決壊する危険性あり



特にヤナギ類は成長が早いので、警戒が必要

【浮遊物の除去】

ため池内に浮遊物があると、ため池栓等の吸込み口を閉塞し、取水に支障が生じるだけでなく、緊急時に操作不能に陥る可能性があります。

枝葉等はその都度取り除くほか、斜樋・竖樋の損傷具合、蓋の開閉具合についても、定期的に点検しましょう。



小枝がため池栓に入り込み、取水能力が著しく低下



斜樋躯体が損傷、蓋も脱落し、貯水能力が低下

【安全性の確保】

取水調整は水面付近で行うため、足場が悪い場合は、転落や滑落により命を落とす危険性があります。

施設本体の改修が困難であれば、安定した足場の各樋、手摺り・命綱の設置、代替水源の確保も検討しましょう。



足場がなく、取水調整が困難な斜樋(塩ビ管)



梯子を設置し、操作性と安全性を改善した事例

【池干しの実施】

ため池の水抜き(池干し、掻い掘り)により、普段目視できない箇所の不具合が点検できるほか、水質の改善、用水機能の維持等が期待されます。

関係者と合意形成を図り、定期的な池干しを検討してみましょう。



土砂吐ゲートを開放し、池干しを行っている様子



水位が低下したため、法面の状態を目視確認

秋田県ため池保全サポートセンター



〒010-0967 秋田県秋田市高陽幸町 3-37

秋田県土地改良事業団体連合会(水土里ネット秋田)

【相談窓口】管理情報部 毎週 火・木曜日 9:00~12:00(祝・休日、年末年始は除く)